

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	公共下水道施設整備事業(備前・日生)	コード	01-01-10-01	担当課	下水道課
事業実施期間	昭和51年度～平成27年度	担当者	森野 浩一	電話	0869-66-9702
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	下水道			
	施策	公共下水道の整備			

事業について	
目的	下水道施設(管渠、処理場)を整備することにより備前・三石・日生処理区域内の水洗化を促進し、公共用水域の水質浄化を図り、衛生的・快適な生活を送る。
対象(誰のために)	公共下水道全体計画における備前・三石・日生処理区域内の住民(36,145人)
内容	備前・三石・日生処理区域における計画面積 1,643ha の下水道施設の整備

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)	
管路延長	5,683.57 m			
供用整備人口	501 人			
供用整備面積	31.23 ha			

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	735,949	国庫補助金等	328,576	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	30,670	受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債	419,700	市債		市債		市債	
合計	766,619	一般財源等	18,343	合計	0	一般財源等	0	

結果指標①	必要人員	4.45	人			
	結果指標名	供用整備人口				
	結果指標量	501				
	単位	人				
	対前年比	-		0.00%		
結果指標②	事業費	766,619,000	円			
	単位当たりのコスト①	1,530,178	円			
	結果指標名	供用整備面積				
	結果指標量	31.2				
	単位	ha				
対前年比	-		0.00%			
事業費	766,619,000	円				
単位当たりのコスト②	24,571,122	円				

事業の成果			
成果指標名	整備率	式又は説明	整備率(%)=供用整備人口累積/(全対象人口)×100
	17年度		
成果指標量	65.1		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	100	到達目標年度	平成27年度(延期の予定)

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	環境に対する意識の高まりとともに公共下水道の必要性に対する住民の認識は高まってきている。今後は経済性・早期実現性などから、合併浄化槽などによる整備が適している場合があるので、整備方法について再検討を行いつつ、限られた財源を有効に活用し、公共下水道整備の促進を図る必要がある。	評価区分 <A~E> <b>C</b>
------	---	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 整備面積 30ha	結果指標量② 整備人口 500人
目標値	成果指標量 整備率 66.5%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	計画区域・整備方法の見直し	平成18年度	水洗化の促進・コスト縮減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。